

図書館におけるクマの出没対策について

公益社団法人日本図書館協会図書館政策企画委員会 2026. 3. 25

〇はじめに

クマ類（ツキノワグマとヒグマ 指定管理鳥獣）の出没による人身被害など、市街地や集落など人間の生活空間にクマがエサ（誘引物）を求める行動中に人と出会うことが近年顕著に発生している。この資料は、図書館政策企画委員会『こんなときどうするの？』改訂版編集チーム編『みんなで考える こんなときどうするの？：図書館における危機安全管理マニュアル作成の手引き』8章施設（敷地）内でのトラブル「動物の侵入」（p150-151）を基に、クマ類に特化してまとめたものである。実際に図書館や付近にクマの出没情報があった際は、まずは利用者や職員の安全確保に努め、関係各所に速やかに通報することが大切である。

〇予防／備え

- ・クマの出没対策を危機管理マニュアルに記載する。館内放送用の文例や利用者の誘導手順をあらかじめ用意しておく。
- ・連絡体制の構築として夜間休日等を考慮した連絡体制図や対応のフロー図を作成しておく。
- ・自治体の関連部署と連携を取る。
- ・図書館の敷地及び周りの状況（見通しの悪い場所や誘引源となる果樹の有無など）をあらかじめ確認しておく。

〇利用者や職員の自分の身を守り、クマを寄せ付けないための留意点

- ・生ごみなどは当日に出すようにし、においのあるものは屋外に置かない。
- ・館外に出るときは音の出るものを携行する。
例えば、声出し、手たたき、クマよけ鈴、自転車のベル、空のペットボトルのパコパコという音、ベアホーンなど。
- ・食べ歩きをしない。
- ・複数人で行動する。
- ・車を駐車場に停める際は、建物から車への移動距離を短くするため、可能な限り建物に近い場所に駐車する。
- ・ヘルメットやヘッドキャップの装着、リュックサックの装備など。
- ・クマの足跡や糞を見つけたら、その場を離れる。
- ・クマに関する偽情報や根拠のない情報もあるため、複数の情報源から情報の信頼性を確認することが大切である。

○対処 図書館でできること

* 図書館や付近にクマが出没したら…

- ・クマの出没の通報があったら、目撃者から現場の状況を収集し、緊急性に応じて適した方法を選び、注意喚起する。
- ・利用者の安全確保：図書館にクマが出没し利用者に危害及ぶ恐れがある場合は、直ちに自治体、警察・消防署に通報する。避難等については、警察・消防の指示に従い利用者の安全を確保する。
 - * 対応チェック表や連絡体制図の作成。
- ・クマがドアを開けられないよう、自動ドアを手動に切り替える。
- ・臨時休館、開館時間の短縮（閉館時間を早める）等の措置も検討する。
- ・ホームページや SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、防災無線等を活用し、逐次情報を提供する。
- ・返却の督促をせず、予約資料の取り置き期限の延長など、来館を促さないことも検討する。
- ・職員の安全確保：移動図書館や資料の宅配などのアウトリーチサービス時におけるクマ出没対策、早朝や夜間など職員の出勤・帰宅途上の対策等。
- ・猟友会等の駆除の決定がされた場合には、周囲の安全確認を行う。
- ・対応後は、制限を解除し、出没記録や捕獲記録等の報告をまとめ、関係機関に情報を共有する。

* 人身被害が発生したら…

- ・人間に被害が及び負傷した場合は、救急車の出動を要請する。その場合、負傷の状況を伝える。

* クマに出会ったら…

参考情報としては、例えば、「クマ類の出没対応マニュアル ー改定版ー」（環境省）のうち、「クマ類に遭遇した際にとるべき行動」（p72-73）がある。遠くにクマがいることに気が付いた場合、近くにクマがいることに気が付いた場合、至近距離で突発的に遭遇した場合、親子グマとの遭遇、クマ撃退スプレーによる撃退についての記載がある。

<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/pdfs/chpt3.pdf>

○情報

* 文部科学省

- ・クマの出没に対する学校及び登下校の安全確保について

https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1417343_00048.htm

- ・「クマ被害対策パッケージ」のとりまとめについて

https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/anzen/1417343_00049.htm

*環境省

- ・「クマ類の出没対応マニュアルー改定版ー」

<https://www.env.go.jp/nature/choju/docs/docs5-4a/>